

事務事業名	国際交流促進事業（団体育成）	整理番号	15205-000
所 管	地域振興課 市民協働スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	昭和61年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 1-5 地球市民を目指した人づくり 政 策 1-5-2 国際交流・国際協力の推進	関連政策	1-5-1 市民交流活動の支援 5-1-1 市民参画の促進

事務事業の内容

目的 (何のために)	市民が国際的な交流を活発に行う機会を増やし、異文化への理解と意識啓発や国際社会に貢献できる人づくりを行う。
対 象 (誰・何を)	市民（外国籍市民を含む）
手 段 (どのようなやり方で)	御殿場市国際交流協会など民間交流団体に補助金・賞賜金を交付し活動を支援する。
成 果 (どのような状態にしたいか)	交流活動を通じ、団体活動が活性化し、市民の国際的視野が広がる。
事務事業の背景・住民の意向	国際化・情報化の進行や在住外国人の増加などにより、地域においても国際交流が行われるようになった。
見直し改善の経過	市民の交流活動が進み、これに応えるため、協会以外の団体・グループの活動を支援した。 平成15年度から、協会の事務員を2名に増員し、事務局体制を強化した。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)												
平成16年度	民間国際交流団体への活動支援（協会個人会員、297名）市民対象の協会講座等実施数 14	<table border="1"> <caption>投入コスト(千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>直接経費(上段)</th> <th>人件費(下段)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16年度</td> <td>約10,000</td> <td>約3,000</td> </tr> <tr> <td>17年度</td> <td>約8,000</td> <td>約2,000</td> </tr> <tr> <td>18年度</td> <td>約10,000</td> <td>約2,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	直接経費(上段)	人件費(下段)	16年度	約10,000	約3,000	17年度	約8,000	約2,000	18年度	約10,000	約2,000
年度	直接経費(上段)		人件費(下段)											
16年度	約10,000		約3,000											
17年度	約8,000	約2,000												
18年度	約10,000	約2,000												
平成17年度	民間国際交流団体への活動支援（協会個人会員、253名）市民対象の協会講座等実施数 17													
平成18年度	民間国際交流団体への活動支援（協会個人会員、262名）市民対象の協会講座等実施数 19													

評価指標

国際交流協会運営自立度(%)	講座等参加者数(人)	ボランティア国際交流事業実施数(回)																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>自立度(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>約35</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>約40</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>約38</td> </tr> <tr> <td>H20目標</td> <td>約35</td> </tr> </tbody> </table>	年度	自立度(%)	H16	約35	H17	約40	H18	約38	H20目標	約35	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>約1,800</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>約1,600</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>約2,000</td> </tr> <tr> <td>H19目標</td> <td>約2,200</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参加者数(人)	H16	約1,800	H17	約1,600	H18	約2,000	H19目標	約2,200	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施数(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>約5</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>約3</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>約1</td> </tr> <tr> <td>H19目標</td> <td>約8</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実施数(回)	H16	約5	H17	約3	H18	約1	H19目標	約8
年度	自立度(%)																															
H16	約35																															
H17	約40																															
H18	約38																															
H20目標	約35																															
年度	参加者数(人)																															
H16	約1,800																															
H17	約1,600																															
H18	約2,000																															
H19目標	約2,200																															
年度	実施数(回)																															
H16	約5																															
H17	約3																															
H18	約1																															
H19目標	約8																															

事務事業の評価

観点別・一次評価（担当部署の評価）		コメント	
観点別評価	必要性	民間国際交流団体を活動支援することにより、市民レベルでの国際理解・国際認識が高まりつつある。民間国際団体の中心的な役割を担う国際交流協会については、自主的活動を支える会員数が減少傾向にあるため、一層の会員増加に取り組み、自主・自立の団体育成に対する改善の必要がある。	今後の方向性
	有効性		継続
効率性	一次評価		
二次評価（行政評価委員会の評価）		コメント	今後の方向性
二次評価	C	会員の増加に取り組み、協会の自主・自立に向けさらなる改善に努められた。	継続

改革プラン

平成19年度からの対応	国際交流協会の自主的な運営ができるように支援する。その第一歩として、国際交流協会による会員増加のための勧誘を推進する。
平成20年度以降の対応	国際交流協会の自主的な運営ができるように支援する。
改革により予想される成果	民間団体主導による国際交流事業の展開が図れる。